

中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター	代表者名	理事長 長谷川 計二
事業名	<基本事業> NPO や地縁団体の事務力アップ支援事業 <企画立案事業> 非都市部 NPO の事務力向上に向けた実態調査及びスタッフのキャリア支援 モデル構築事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2020年 4月 ～5月 29日 週 6日開設	【基本事業】 NPO 相談窓口(コロナ緊急対応)開設 オンラインでも相談を受付
6月～	【基本事業】 NPO 相談窓口開設 (水曜日・土曜日・日曜日のうち、毎週1回)
9月～	【企画立案事業】 調査票設計の検討 * NPO 事務支援実績のあるメンバーによる検討会を開催した(2020年 11月 12日、12月 1日、2021年 3月 1日。いずれもオンライン会議)
11月～12月	【基本事業】 講座「NPOで働く」の支え方～メンバーの“心身の健康”を守るために、できること」 ①はじめてのアンガーマネジメント(11/26) ②健康経営の視点から見た、NPOの労務体制見直し(12/10)
2021年 1月～2月	【企画立案事業】 調査票作成準備
3月	【企画立案事業】 NPO 法人への調査票調査

<効果と成果>

場とつながりの研究センターは、「居場所」や「対話」といったキーワードで、参加者同士が学びあえる場づくりを模索しています。NPO 相談支援事業では、日々の相談支援や伴走型支援に加え、NPO を担う「個人」の課題や気持ちに寄り添う必要性を痛感し、NPO で働く人の心身の健康をテーマに講座を企画しました。資金調達や団体のマネジメント・ガバナンスをはじめとしたさまざまな課題に対する相談支援に取り組んできましたが、特に、コロナ禍での行政受託事業の予算削減や、利用者減などに伴う持続可能な組織運営についての問い合わせに多く対応しました。一方で、団体自身のミッションは何かを問い直す機会でもあり、制度に団体を合わせるのではなく、職員を団体に適合させるだけではない運営のあり方を提案してきました。

それを踏まえて、NPO で働く「事務スタッフ」の支援のあり方の検討を始めたところです。初年度は実態調査を行いました。次年度は事務スタッフの支援方法についてより深めていきます。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費収入	35,000
自己負担	247,798
合 計	782,798

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費	518,400	244,032
	謝金	55,685	55,685
	通信運搬費	87,004	87,004
	その他 (消耗品費、図書費等)	121,709	113,279
	小 計	782,798	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		782,798	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己負担	79,762
合 計	579,762

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費	256,200	230,000
	謝金	120,000	120,000
	通信運搬費	91,654	90,000
	その他 (消耗品費、印刷費等)	111,908	60,000
	小 計	579,762	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		579,762	500,000